

医療・介護・福祉従事者のための 『多職種連携セミナー』 やってます！！



9月20日 『災害研修～想定外にどう備えるか』

講師：大阪公立 大学都市科学・防災研究センター 生田 英輔氏

● 災害の基礎意識

大阪は「南海トラフ地震」を意識するが、台風による風水害など高潮による浸水被害のほうが広範囲である。また火災や熱中症など日常生活で起こる災害のほうが発生確率は高く、その対策も重要。防災や減災のためには、災害時に何が起きるか「知る」、自分のリスクを「考える」、室内の安全確保（家具の固定など）や備蓄など「備える」で進めていく

● 質疑応答

- ①まず自分が生き残ることが大切。発災後どう動くべき？望ましいのは水平避難。ビルは損傷や火災などの危険性あり。港区は中央大通りを挟んで動けるか、43号線を越えられるかということも考慮する。
- ②利用者宅を訪問中、自分はどう動くべきか
・室内の一番安全そうな場所・脱出経路の確認、利用者宅からの非難経路の確認、避難シミュレーションもしておく
・一緒に避難はできない可能性もあるので、あらかじめ利用者と話し合っておくことが必要。



グループディスカッションでは、自施設で災害に向けて取り組んでいることを共有。アンケートでは「他施設の取組みが参考になった」「今日の内容を職場に持ち帰る」などの意見が聞かれました

10月18日 『難病ケアマネジメントの基本』

● 在宅で出会う 難病 の基礎知識

港区保健福祉センターM保健師が、難病申請にかかる手続きや利用できる制度、患者さんへの関わりなどをレクチャー

● 実際の支援から学んでみよう

神経難病患者さんを数多く支援されているSケアマネがマネジメントの展開を事例から報告。押さえておきたい支援ポイントや他職種との連携をパネルディスカッションで進行。パネリストは訪問看護師・保健師・在宅医療介護連携支援コーディネーターでフロアを交えてディスカッションを行いました。

● 参加者の声

- ・実践にそった具体的な話を聞いて勉強になった
- ・日頃の連携を聞くことができ、勉強になりました。
- ・これまで参加したどの研修より楽しかった
- ・気楽に意見交換ができ、職種の専門性や視点の違い、同じケアマネジャーでも実践していることの違いが共有できてよかった



保健師さんの講義

ディスカッション



次回は12月12日(木) 14:00～15:30
テーマはIPW（多職種連携協働）
詳細はHP（上記QRコード）でご確認を